

# 「近年の気象状況」について

「提供：国土交通省関東地方整備局」

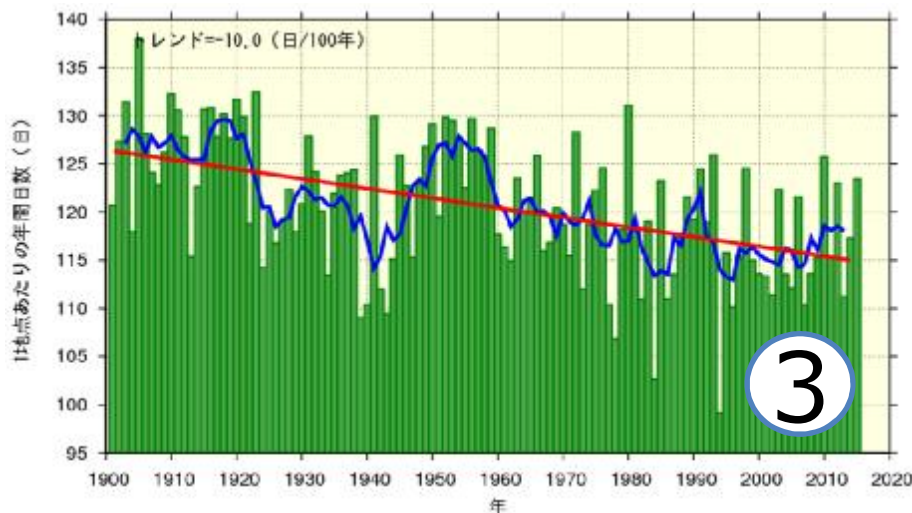
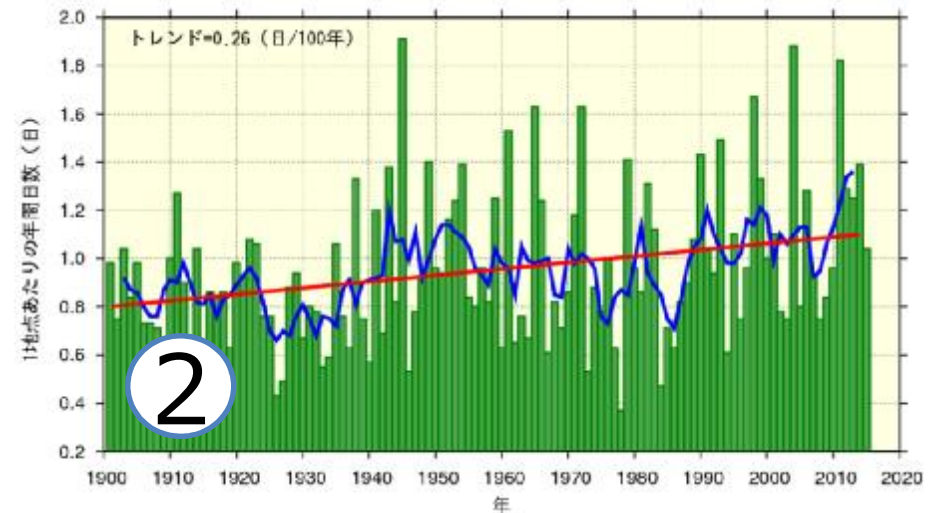
大阪管区气象台





# 大雨の傾向 (極端な雨の変化傾向)

- “非常に激しい雨”は増加傾向、大雨の頻度は増加している。
- 一方、降水日数は減少している。



- ① 1時間降水量50mm以上の年間発生回数(1976~2015)
- ② 日降水量100mm以上の年間日数(1900~2015)
- ③ 雨の降る日(日降水量1.0mm以上)の年間日数(1900~2015)

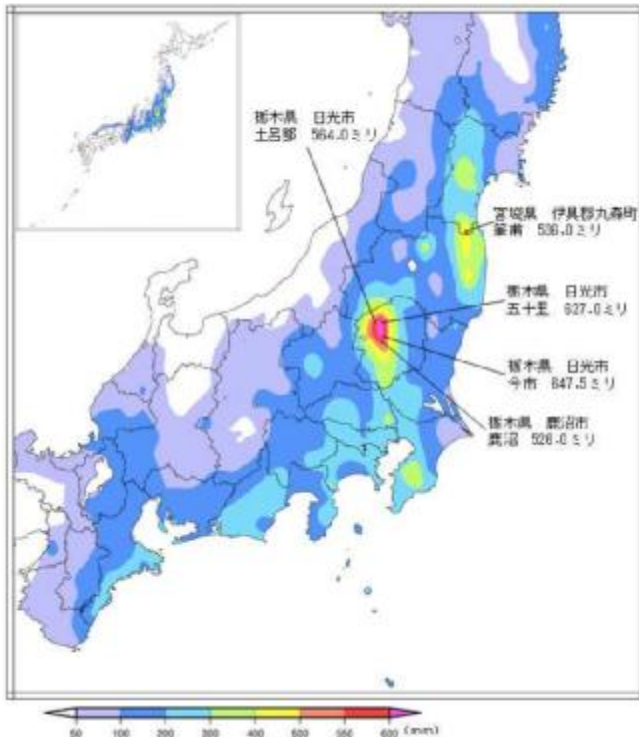


# 最近の大雨による災害事例

## 平成27年9月関東・東北豪雨

- 台風第18号が日本海に進み、温帯低気圧に変わった。この温帯低気圧に向かって南から湿った空気が流れ込んだ影響で広い範囲で大雨となり、特に関東地方と東北地方では記録的な大雨となった。
- 9月7日～11日の総降水量は、栃木県日光市今市で647.5ミリ、宮城県丸森町筆甫（ひっぽ）で536.0ミリを観測するなど、関東地方で600ミリ、東北地方で500ミリを超え、9月の月降水量平年値の2倍を超える大雨となり、鬼怒川をはじめとする大小多数の河川で氾濫が発生した。

・期間降水量分布図（9月7日0時～9月11日24時）



写真：関東地方整備局ホームページより

大雨の状況(9月7日00時～11日24時)  
24時間降水量(アメダス観測値)

栃木県	五十里(いかり)	551.0ミリ	10日	6時30分まで(観測史上1位)
栃木県	今市	541.0ミリ	10日	6時20分まで(観測史上1位)
栃木県	土呂部(どろぶ)	444.0ミリ	10日	5時00分まで(観測史上1位)
栃木県	鹿沼	444.0ミリ	10日	6時00分まで(観測史上1位)
栃木県	奥日光	391.0ミリ	9日	23時40分まで

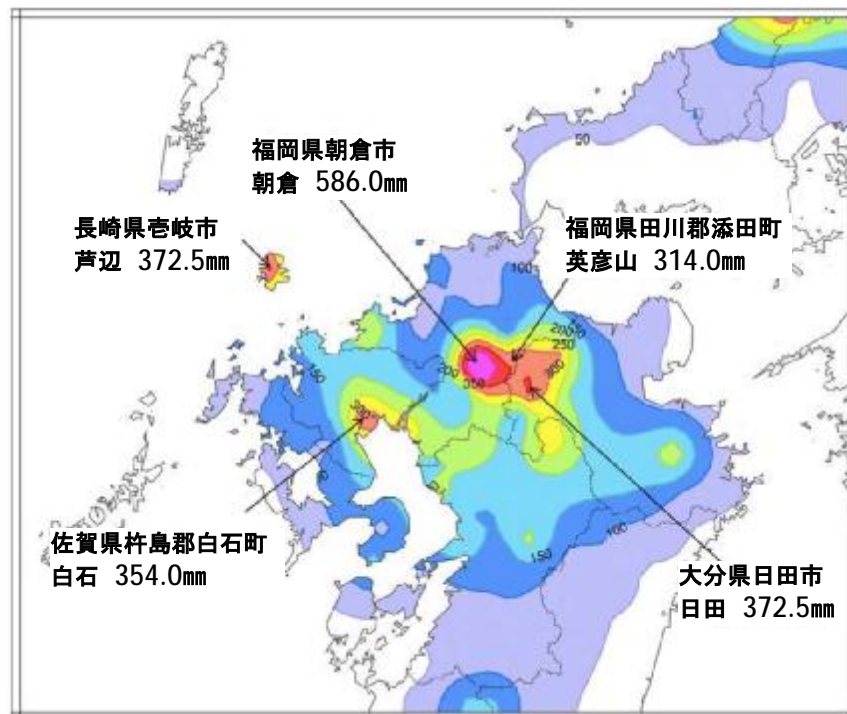


# 最近の大雨による災害事例

## 平成29年7月九州北部豪雨

7月5日から6日にかけて、対馬海峡付近に停滞した梅雨前線に向かって暖かく非常に湿った空気が流れ込んだ影響等により、線状降水帯が形成・維持され、同じ場所に猛烈な雨を継続して降らせたことから、九州北部地方で記録的な大雨となった。

九州北部地方では、7月5日から6日までの総降水量が多いところで500ミリを超え、7月の月降水量平年値を超える大雨となったところがあった。また、福岡県朝倉市や大分県日田市等で24時間降水量の値が観測史上1位の値を更新するなど、これまでの観測記録を更新する大雨となった。





# 最近の大雨による災害事例

## 大阪の大雨（2012年8月14日）



寝屋川親水空間「せせらぎ公園」  
(寝屋川市ホームページより)

### 大阪府内の被害状況

(大阪府危機管理室調べ)

- 床上浸水 2,597 棟
- 床下浸水 13,559 棟
- 死者 1 人、軽症 2 人

### アメダス

大阪府枚方 : 14日06時20分までの1時間に91.0 ミリ

京都府京田辺 : 14日06時25分までの1時間に78.0 ミリ

ともに観測史上1位の値を更新

### 解析雨量(レーダーの反射強度を雨量に換算したもの)

14日05時30分までの1時間に大阪府高槻市付近で

約110ミリの猛烈な雨



# 平成29年度出水期から実施の防災気象情報の改善

## 基本的方向性

- 社会に大きな影響を与える現象について、可能性が高くなくとも発生のおそれを積極的に伝えていく。
- 危険度やその切迫度を認識しやすくなるよう、分かりやすく情報を提供していく。

交通政策審議会気象分科会提言「新たなステージ」に対応した防災気象情報と観測・予測技術のあり方（平成27年7月29日）より

### 改善Ⅰ 危険度を色分けした時系列

H29.5.17  
提供開始

- 今後予測される雨量等や危険度の推移を時系列で提供
- 危険度を色分け

#### 【改善策】

平成××年××月×日××時××分××地方気象台発表  
××市

【発表】 暴風、波浪警報 大雨、雷、濃霧注意報  
【継続】 高潮注意報

××市	今後の推移 (■警報級 □注意報級)																
	7日							8日									
発表中の警報・注意報等の種別	21-24	0-3	3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24
大雨 1時間最大雨量(ミリ) (浸水害)	10	10	30	30	50	50	50	30									
暴風 風向 風速(矢印・メートル)	陸上	陸上	陸上	陸上	陸上	陸上	陸上	陸上	陸上	海上	海上	海上	海上	海上	海上	海上	海上
波浪 波高(メートル)	5	5	8	8	8	9	8	7	7								
高潮 潮位(メートル)	0.7	0.7	0.8	1.0	1.8	2.0	1.8	1.2	1.2								

【現在】

注意報・警報  
(文章形式)



### 改善Ⅱ 「警報級の可能性」の提供

H29.5.17  
提供開始

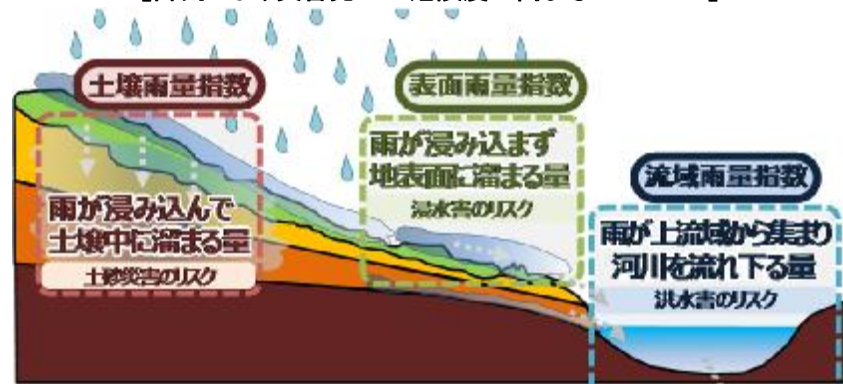
- 夜間の避難等の対応を支援する観点から、可能性が高くなくても、「明朝までに警報級の現象になる可能性」を夕方までに発表
- 台風等対応のタイムライン支援の観点から、数日先までの警報級の現象になる可能性を提供

日付	明朝まで	明日	明後日	(金)	(土)	(日)
警報級の可能性	雨	中	—	—	中	高
	風	中	—	—	高	高

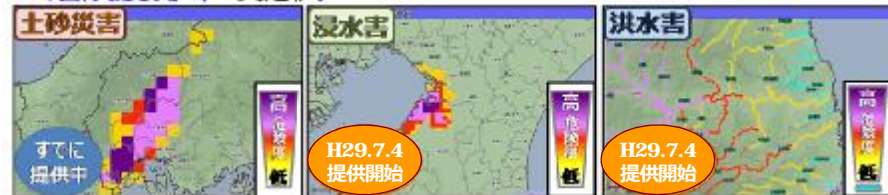
### 改善Ⅲ 危険度分布(メッシュ情報)の充実

- 災害発生の危険度の高まりを評価する技術の開発(表面雨量指数・流域雨量指数)

【降雨により災害発生の危険度が高まるメカニズム】



- 大雨警報・洪水警報等を発表した市町村内においてどこで実際に危険度が高まっているかを確認できる危険度分布の提供



- 危険度分布の技術を活用した大雨特別警報の発表対象区域の改善